



# 南のかぜだより

\*\*\* 第21号 \*\*\*  
2025年 夏号  
発行 特定非営利活動法人  
ソーシャルネット南のかぜ

## 南のかぜ・ハンドbook～成年後見制度活用編～ ができました

当法人は、新たな事業として親族後見人支援の事業を立ち上げ、成年後見制度が利用される方にもっとメリットを感じて利用してもらえるよう、また親族の方が支援者や受任者になっても困らないような仕組みづくりを地域の皆様と一緒に考えていきます。

その一環として、この度、「南のかぜ・ハンドbook～成年後見制度活用編～」を作成いたしました。

このハンドブックは、親族後見人支援事業「笑顔のネットワークづくり」において市民の方に成年後見制度について説明する際の資料として、また、福祉の専門職等を対象とした研修の場ではテキストとして使用することを目的として作成しました。

そのため、市民の方にはわかりやすく、専門職には必要な知識の習得ができるように配慮しました。

このハンドブックの作成にあたっては、有志会員4人により、ゼロから作り上げました。

2024年10月23日の第1回の打ち合わせで、各ページの担当者を決め、各自が担当するページの項目について、内容やレイアウトを考える作業をした後、集まっては、推敲する作業を繰り返し、ようやくハンドブックの素案の作成までこぎつけました。その間、8回のわたり打ち合わせを行いました。

当法人定期総会において会員に配布し、内容を確認していただき、そこででた意見に基づきさらなる修正をしたうえで、ようやく印刷のはこびとなりました。

当初は、本当に作り上げることができるのか半信半疑でしたが、今は、形となって、皆様のお手元にお届けできることを嬉しく思っています。

このハンドブックは、いつまでもお手元に置いていただき、困ったとき、確認したいとき等に読み返していただければ幸いです。  
(窪田由利子)



## 第12回定期総会報告

2025年5月25日稲城市立iプラザで開催し、提出議案全てが承認されました。

### 《2024年度事業報告》

親族後見人支援事業「笑顔のネットワークづくり」は2年目となり、今年度も7か所で開催する事ができました。参加者の疑問や不安に応え当法人のサポートとする本人を中心とした支援に取り組む事ができました。また、「一般市民対象に講演会」今から始める「老い支度」を開催しました。グループによる懇談の場では、将来についての不安や権利擁護支援等について意見交換し、人と人の輪を結ぶ場になり好評を得る事ができました。

### 《2025年度事業目標》

設立から12年目となりました。当法人の担うべき役割は、活動圏域である地域での持続可能な権利擁護支援の仕組みづくりに参画すること、そして一昨年度からスタートした「親族後見人支援事業」笑顔のネットワークづくりの取り組みを進めること、更に適正な法人後見の受任を推進する事です。また、法人設立20周年を見据えこれからの法人の在り方を検討していきます。

(1) 組織の在り方の検討  
・「あり方検討会(仮称)」を立ち上げ当法人の進むべき方向を検討していきます。

・相談体制、組織運営を強化するため、広報活動等への会員参加のしくみに取り組みます。

### (2) 法人後見受任の推進

・中核機関や関係機関との連携を図り、適正な法人受任に応えられるようにします。

### (3) 親族後見人支援の推進

・「親族後見人支援事業」笑顔のネットワークづくり」事業の「カフェ・タイム」を開催し地域住民との相互交流を目指します。また、「わたしの物語」をつむぐあすへのノート」を活用し、老い支度に関心を持つニーズに応えます。

・親族後見人等のための相談やサポートを実施します。  
(市川悦子)

